



第1回 アジアコンバットレスリング選手権大会 2016 本庄大会要項

- 1) 主催 一般社団法人 日本コンバットレスリング協会
- 2) 主管 アジアコンバットレスリング選手権大会実行委員会
- 3) 後援 日本格闘競技連盟 (JMAGA) / 本庄商工会議所青年部
- 4) 協力 本庄市レスリング協会
- 5) 日程 2016年8月12日(金)～14日(日)
- 6) 会場 本庄総合公園体育館 (通称:シルクドーム) / サブアリーナ
〒367-0031 埼玉県本庄市北堀4-3-3 ※駐車場あり
- 7) 参加資格 下記のいずれかに該当する者
 - 1) アジア諸国のパスポートを所持する者または取得予定者
 - 2) 日本国に3年以上在住し、それを証明する書類を明示できる者
 - 3) 大会実行委員会が特別に推薦した者 (国籍は問わない)
- 8) 参加条件 下記すべてを遵守すること
 - 1) 各自で傷害保険に加入していること
 - 2) 大会参加時にパスポートを携帯し明示できること
 - 3) 大会ルールと競技ルールを遵守し、それを誓約すること
 - 4) 本要項の内容を遵守すること
- 9) カテゴリー
 - a) 男子シニア (1997年以前に生まれた者)
52 / 57 / 62 / 68 / 74 / 82 / 90 / 100 / +100kg
 - b) 女子シニア (1997年以前に生まれた者)
48 / 52 / 56 / 60 / 64 / 68 / 72 / 80 / +80kg
 - c) 男子ユース (1998年以後に生まれた者)
52 / 60 / 70 / 82 / 96 / +96kg
 - d) 男子カデット (2001年以後に生まれた者)
40 / 50 / 60 / 72 / 84 / +84kg
 - e) 男子マスターA (1976年以前に生まれた者)
57 / 62 / 68 / 74 / 82 / 90 / 100 / +100kg
 - f) 男子マスターB (1971年以前に生まれた者)
57 / 62 / 68 / 74 / 82 / 90 / 100 / +100kg

注1) マスター選手はシニアへもエントリーできる

注2) 2カテゴリー以上への同時エントリーを認める

(例) マスターAとシニア、マスターA、B、シニア

注4) 18歳以下でも実行委員会が認めればシニアへの出場を許可する

(次ページに続く)



- 10) 試合形式 (時間) 男子シニア&マスター 5分
女子シニア・男子ユース&カデット 4分

原則、トーナメント方式で行う。
参加者数の少ないカテゴリーはリーグ戦形式で行う場合がある。

- 11) 計 量 計量は13日午後に行う。時間内(60分)であれば何回でも可能。
交通事情により、特別処置を行う場合がある。

- 12) 参 加 費 4,000円/1カテゴリーごとに必要
注) 出場キャンセルによる参加費返却は行わない

振込先 埼玉りそな銀行 児玉(こだま)支店
普通口座 3979146
シャ) ニホンコンバットレスリングキョウカイ

- 13) 申込方法 出場申込書(別紙)の必要事項すべて記入し、次のいずれかの方法で送付。

①郵送 または ②データ(スキャンデータ等)をメール添付で送信

その際に、参加料振込の控えと、パスポートのコピー(持っていないない場合は免許証等写真付きの身分証明書)を同封(メールでの申し込みの場合は添付)すること。

《締め切り》 2016年8月1日(月)必着

- 14) 備 考
- ・ 宿泊ホテルは、協会でも斡旋可能です。6月末迄にお申し込みください。
[参考] シングル1泊=12,000円/朝・夕食付き/会場までの送迎あり
 - ・ 要項に変更がある場合は、下記の「Facebook ページ」にて告知します。
<https://www.facebook.com/JAPANCW/>
 - ・ 開催地が地方都市であるため、協会が認めた選手には、その実績(コンバットレスリング等の大会)により宿泊費の補助をいたします。
補助希望の選手は事前に問い合わせをお願いいたします。
なお、補助金額に限りがあるため、希望者全員への供出ができないこともありますので、ご了承ください。
 - ・ ルールと試合着規定については、別紙のルール概要をご参照ください。

(次ページに続く)



15) 大会スケジュール (予定)

- 8月12日(金) 出場者受付 (12~13日の指定時間内に受付を済ませること)
- 8月13日(土) 出場者受付/計量 (午後15:00を予定)
ルールミーティング/監督会議/審判会議/各国会議
- 8月14日(日) 10:00 開会式
予選~決勝~表彰
※大会終了後にフェアウェルパーティー実施 (予定)

16) 問い合わせ/参加申込書送付先

〒169-0073
東京都新宿区百人町 2-22-16 シエン・コンドミニオ 214 号
有限会社MCアブソリュート内

日本コンバットレスリング協会 アジア選手権事務局

問い合わせ info@mca.jp / 090-3348-6738 (担当: ヨシザワ)

※問い合わせは極力メールでお願いいたします。

以上

(2016/5/30)

↓ 申込書郵送の際の宛名としてご利用ください。

〒169-0073
東京都新宿区百人町 2-22-16 シエン・コンドミニオ 214 号
有限会社MCアブソリュート内

日本コンバットレスリング協会 アジア選手権事務局行

2016年アジアコンバットレスリング選手権大会出場申込書

(2016年8月1日必着)

| 名前 | 所属 | カテゴリー(○で囲む) | |
|--------|--------|-------------|-------|
| (フリガナ) | (フリガナ) | 男子シニア | 女子シニア |
| | | マスターA | マスターB |
| | | ジュニア | カデット |

| 階級 | 生年月日(西暦) | 身長 | 携帯電話番号 |
|-----|--------------------|------|----------|
| kg級 | 年 月 日 (性別: 男・女) | cm | Eメールアドレス |
| | | 通常体重 | |
| | | kg | |

| 住所 | |
|----|-----------------|
| 〒 | 都・道・府・県 区・市・町・村 |

| 緊急連絡先(必ず記入して下さい) | 世界選手権への参加 |
|------------------|-------------------|
| (お名前) (ご本人との関係) | (10月15-16日 ハンガリー) |
| (電話番号) | 希望する ・ 希望しない |

| コンバットレスリング戦績 | 格闘技歴・戦績・段位 |
|---|------------|
| 2016年全日本 第 位 / 出場 2015年世界選手権 第 位 その他の大会 | |

誓約書

日本コンバットレスリング協会 会長 木口宣昭殿

私は、大会要項を遵守するとともに、大会中は大会主催者の指示に従い試合に参加することを誓います。

大会にかかわる肖像権については、すべて主催団体に帰属することを認めます。

また、大会参加にかかわる怪我については、一切大会主催者にその責任を問わないことを約束いたします。

2016年 月 日

(本人署名) _____ (印)

※未成年者はこちらに
保護者の署名・捺印を

(保護者署名) _____ (印)



コンバットレスリング ルール (和訳)

2016年4月改定 (抄訳)

国際コンバットレスリング連盟 (FICW) は、投げ、抑え込み、グラウンドでのサブミッションを認めた独自のルールにより、グラップリング (道着無し) の大会を開催する。

<階級・試合について>

男子階級： 52, 57, 62, 68, 74, 82, 90, 100, +100 kg.

女子階級： 48, 52, 56, 60, 64, 68, 72, 80, +80 kg.

計量は、ショートパンツを着用した状態で行われる (男子)。

試合時間：5分 / 1ラウンド

試合用ユニフォーム：赤および青のショーツ (短パン、スパッツなど) とレスリングシューズ (以下参照)

ウェアに関する注意

ショーツ:

選手は、赤 / 青のリバーシブル、または、それぞれの色のショーツ (ポケットのない短パンやスパッツなど) を用意する。

他の色が混同している場合は、全体の面積の 20%以下とする。ただし、コーナーの反対色の使用は全体の面積の 5%以下とする。

サイズは身体にフィットしており、弾力性を必要とする。

上衣:

上衣は着用しなくてもいいが、ラッシュガードの着用を選ぶこともできる。

その場合、試合のコーナーカラーと同系色か、白や黒などの中間色のみ認める。

赤コーナーで出場する際に、青色系のラッシュガードを着用することはできない (反対コーナーの場合も同様)。ただし、チームロゴや国旗などがデザインされており、そこに反対コーナー色が使用されていることは認める。

シューズ:

レスリングシューズ着用。またはサンボシューズ、グラップリングシューズが認められる。



Wining methods : 勝敗

- 1.一本：関節技・絞め・痛め技によるタップアウト、または発声による試合放棄の意思表示
- 2.一本：12点差によるテクニカルビクトリー
- 3.判定：試合終了時に得点の多い方が勝ちとなる。同点だった場合は次の基準により勝利が決まる
 - a) コーションによる得点のない（少ない）方
 - b) ビッグポイントを獲得した方
 - c) 最後にポイントを獲得した方（ラストポイント）
- 4.同点：まったく同じ内容で（同点で）試合が終了した場合は3分間の延長戦を行う
 - a) 2ポイント以上獲得した場合、その時点で勝利となる
 - b) 延長戦での優劣が決しなかった場合は、3名の審判による判定を行う（積極性、勝利への意欲、サブミッションホールドへのチャレンジを基準にする）

Points awarded : 得点

1) スタンド（投げ技）

- 1ポイントの投げ：はらばいで正面が（腹）、または臀部がマットに着く状態で倒す
- 2ポイントの投げ：体側をマットに着く状態で倒す
- 4ポイントの投げ：背中がマットに着く状態で倒す。または、ウエストより高く持ち上げてから投げる

2) ポジショニング

- 1ポイント：バックポジション（両足をフックすること）
- 1ポイント：マウントポジション（抑え込みに行かない場合にこのポイントをとる）
※いずれも、1試合につき1回のみ獲得できる（1試合で最大合計2ポイント）

3) ピン（抑え込み）

抑え込みは、3名中2名以上のレフェリーが認めた時点でスタートする。

抑え込みのカウントは、抑え込もうする選手が完全に下の選手をコントロールし、サイドまたは上四方のポジションになったところからスタートする。

- 1ポイント：10秒以上20秒未満
- 3ポイント：20秒以上30秒未満
- 4ポイント：30秒

抑え込みで獲得できるポイントは、1試合で最大4ポイントまたは1回のみ。

抑え込みの途中で試合時間終了時間を迎えた場合は、抑え込みが継続している間は試合時間を延長する。

※次の場合は抑え込みと認められない。

- 相手の両足が攻撃側の脚または身体に巻き付いている状態
- 相手の身体が90度以上傾いた場合

Breaking up, inactivity and cautions : ブレイクと消極性によるコーションについて

一方の選手に攻撃する姿勢が見られない場合、3名中2名以上のレフェリーの同意を以て、その選手には注意が与えられ、もう一方の選手には1ポイントが与えられる。

さらに消極的な姿勢が続く場合は同様に2つ目の注意が与えられ、もう一方の選手にはさらに1ポイントが与えられる。

3回目の注意を受けた場合には失格負けとなる。

軽微な消極性については、アテンションが与えられる。これはポイントにはならない。



Disqualifications : 失格 :

禁止行為 :

クローズドガード

頸椎への攻撃

胴締め

ネッククランク、頸椎および脊髄への関節技行為

指への関節技

ヒールホールド

ヘッドスパイク

関節技につながる投げ

立ち関節技

あらゆる打撃行為

ワセリンおよびそれに類するものを身体に塗布すること

かみつき、ひっかく行為、目つぶし、フッシュフッキング（口に指を入れて引き裂く行為）

スラム（バスター）

頭から落とす（投げる）こと

審判への非公式なクレーム

審判の指示に従わない場合

Manners : マナー

審判の判断への疑義提出は禁止。

選手のセコンドおよび応援者は社会的規範に則った行動をとること。もし、それに反する場合は競技エリアから退場とする。

以上